

2023-2024年度



国際ロータリー テーマ

世界に希望を生み出そう

第2690地区 スローガン

希望の種を播きましょう。育てましょう。

益田ロータリークラブ スローガン

希望は心の太陽である

2024年2月9日〈金〉第2例会 第2977回

例会場：益田商工会議所2階会議室

事務局 TEL：080-2923-1616 FAX：23-7379 クラブ番号：14716

会員専用ページパスワード（英数半角）：masuda0078564085

IM記念ページパスワード（英数半角）：welcome2020202lim

ロータリーの友電子版 ID：2690-00407

パスワード：00407-242

~~~~プログラム~~~~

12：30

- ◎開会の言葉 田上幹事
- ◎開会点鐘 田原会長
- ◎ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱
- ◎ゲストスピーカー&ビジター紹介 田上幹事  
本日は増野会員によるイニシエーションスピーチのため、ゲストスピーカー  
&ビジターはありません。
- ◎食事案内《きりた》 佐々井副幹事

以下午後の部

- ◎会長挨拶 田原会長
- ◎スマイル報告 佐々井副幹事
- ◎幹事報告 田上幹事

1. 本日例会終了後、2月第9回理事会を開催しますので、理事の方はご出席をお願い致します。
2. 2月16日は休会となります（休日を含む週：建国記念の日）。  
2月23日は休会となります（当日祝日：天皇誕生日）。  
なお、2月23日は天皇誕生日ですが、ロータリーの創始者ポール・ハリスが、友人3人と最初に会合をもった日であり、この2月23日を祝う創立記念日は、「世界理解と平和の日」として遵守されています。この日、各クラブは、国際理解、友情、平和へのロータリーの献身を特に認め、強調しなければならないとされています。
3. 今年度の明誠高校インターアクト例会開催予定は、3/5（火）で、明誠高校Mラボ（3号館3F）、16時～16時20分の予定です。今回は水曜日ではなく火曜日です。振るってご参加をお願い致します。なお、例会プログラム中に「ロータリアン・スピーチ」がありますので、参加される方は、30秒～1分程度の挨拶を考えておいてください。
4. 本年6月15日（土）に古瀬倶之ラーニングファシリテーターと石倉地区ガバナーの共催でクラブ入会3年未満の新会員を対象とした研修セミナーが実施される予定です。
5. 4月7日地区研修・協議会が岡山コンベンションセンターで開催されます。出席要請が来ているのは、会長部門、幹事部門、職業奉仕部門、社会奉仕部門、国際奉仕部門、青少年奉仕部門の各担当者です。永島会長エレクトの人事案では、会長部門（永島会員）、幹事部門（増野会員）、職業奉仕部門（市原会員又は青木会員）、社会奉仕部門（市原会員又は青木会員）、国際奉仕部門（小田川会員）、青少年奉仕部門（廣兼会員）となります。当日日程が合わない方は早急に調整をお願い致します。また、出席が決まった方は、可能であれば予

めロータリーの友のバックナンバー等を読んで予習しておいて下さい。ちなみに、職業奉仕部門にご出席の方であれば、1月が職業奉仕月間ですので、過年度分のロータリーの友1月号を読んでおけば安心です。過年度分のロータリーの友は、会員専用ページ（活動・例会（予定表兼実績表））及び「ロータリーの友 ライブラリー」からダウンロードできます。

6. 1月理事会で承認された3月1日以降の予定は以下のとおりです。

3月1日 矢富会員スピーチ「矢富邦久カンボジアの旅」後編

3月8日 PETS報告（永島会員）

3月15日 IM報告（IM参加者）

3月22日 休会（休日を含む週、春分の日）

3月29日 お花見例会

4月5日 外国語指導助手のゲストスピーチを予定

4月12日 地区研修・協議会（4月7日実施予定）報告

7. ロータリー手帳の案内が来ています。末尾に案内文書を添付します。

#### ◎委員会報告

クラブ管理運営委員会

|     |     |     |    |       |     |
|-----|-----|-----|----|-------|-----|
| 会員数 | 出席  | 欠席  | 長欠 | HC出席率 | M U |
| 21名 | 11名 | 10名 | 0名 | 52.4% | 5名  |

本日のMY箸の使用率は 10/11 90.9パーセントでした。

## 会員スピーチ(増野会員)

### 「イニシエーションスピーチ」

#### ◎閉会点鐘

13:30

田原会長

#### **MU** 2月8日妙義寺清掃奉仕

田原会長、佐々井智恵子会員、永島会員、大畑会員、青木会員

創立S36年1月24日 **THE ROTARY CLUB OF MASUDA** 承認S36年3月16日

会長 田原裕司 副会長 永島一忠 幹事 田上尚志 副幹事 佐々井美穂 会計 重親政継 SAA: 安野光雄

## 2023年2月2日会長挨拶

別紙記載のとおり。

### 注意事項

- ① 例会にはできるだけマイ・箸をお持ち下さい。

### 欠席届出の方法について

- ① 予め例会に欠席することが分かっている場合には、火曜日までに事務局（サウンド・パレット）に連絡する。出席の場合は連絡を要しないものとする（出席連絡をしても構わない。）。
- ② 連絡方法は会員の多くが見られるLINEグループを推奨するが、LINEグループへの参加は自由であるし、LINEを好まない会員もいるので、連絡方法はFAX（サウンド・パレット：0856-23-7379、電子メール（アドレス：[rcmasuda@tx.miracle.ne.jp](mailto:rcmasuda@tx.miracle.ne.jp)）、電話（益田ロータリークラブ事務局専用携帯電話：080-2923-1616）など、特に制限は設けないこととする。
- ③ 事務局は、水曜日の最初の仕事として、例会欠席予定者をLINEグループで発表し、会員に確認を求める。但し、LINEグループ不参加者に対してはショートメール、電子メール、FAX、電話など適宜の方法を用いる。

- ④ 急用で欠席することもあるので、欠席する場合には火曜日を過ぎていても連絡する。火曜日までの連絡を失念していた場合も同様とする。

会員専用ページへのQRコードはこちら



会員専用ページレターケースへのQRコードはこちら



ウェブIM記念サイトへのQRコードはこちら



## 023-2024 インターシティミーティング 会場周辺地図



2024年2月1日

ロータリークラブ会長・幹事 各位

一般社団法人ロータリーの友事務所  
代表理事 高野 孫左衛門

## 2024-25年度版 ロータリー手帳お買い上げのお願い

拝啓 時下益々ご清祥の御事とお慶び申し上げます。

『ロータリーの友』につきましては、常々ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、皆様にご活用いただいております「ロータリー手帳」ですが、2024-25年度版も価格を据え置き、手帳本体のカレンダー（月間・週間・年間）をさらに充実させて製作することとなりました。

サイズは現年度と同サイズ（タテ17.4cm×ヨコ8.5cm）、カラーはロータリーの第一基本色・ロイヤルブルー。付録はご好評をいただいております「ロータリー関連資料」を、ご提供させていただきます。ロータリアンのためのロータリー手帳です。一層のご活用をお願い申し上げます。

つきましては、会員の皆様に別紙のご案内をご回覧いただき、ご注文をお取りいただきますようお願い申し上げます。

ご注文は、2月25日までに、下記ウェブサイトの「注文・各種変更」の「予約販売品」からご注文下さい。なお、お手数ですが、ご注文がない場合も、注文数「0（ゼロ）」にてご連絡くださいますよう宜しくお願い申し上げます。

ウェブサイトでご注文ができない場合は、ロータリーの友事務所（Tel:03-3436-6651）へご連絡下さい。

その後の追加注文につきましては、残部がある限りお受けしますので、ご連絡いただきますようお願い致します。なお、売り切れの場合には、『ロータリーの友』誌の「お知らせ」欄でお伝え致します。

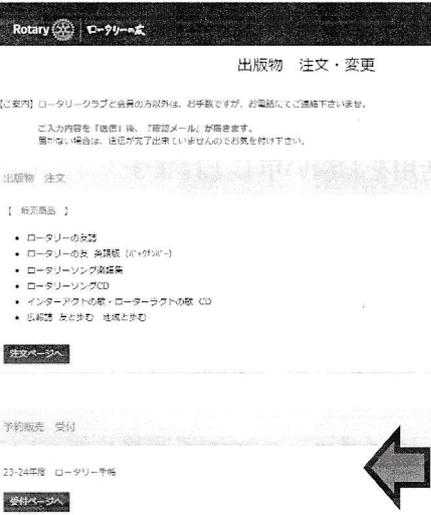
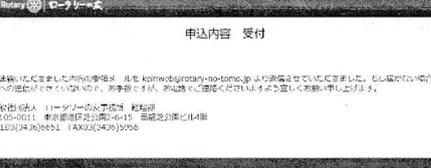
敬具

**ご注文は WEB:[www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) から**



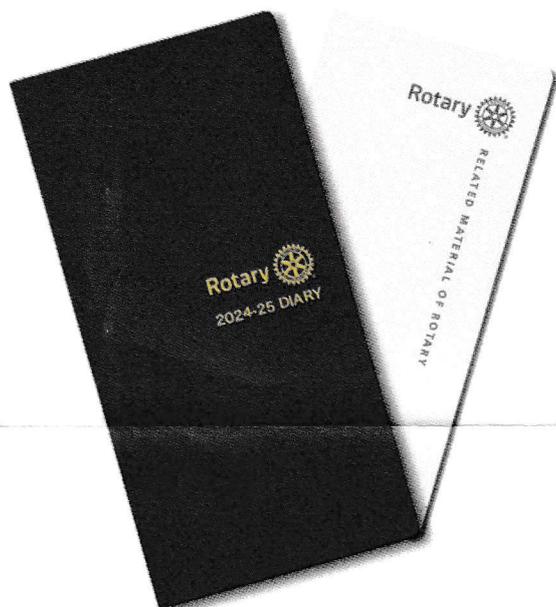
※操作方法は裏面をご確認ください。

(操作方法)

|                                                                                     |                                                                                                                                                                        |
|-------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|    | <p>① 『友』ウェブサイト (<a href="http://www.rotary-no-tomo.jp">www.rotary-no-tomo.jp</a>) を開く</p>                                                                              |
|   | <p>② 「HOME」の「クラブ・会員専用」<br/>→ 「注文・各種変更」を選択</p> <p>(左の画像参照<br/>クラブ・会員専用欄の緑のボタンです)</p> <p>③ 「予約販売 受付」<br/>→ 「24-25年度 ロータリー手帳」を選択</p> <p>(左の画像参照<br/>出版物注文欄の下に項目があります)</p> |
|  | <p>④ 画面に従って入力、送信</p>                                                                                                                                                   |
| <p>申し込みが完了すると、<br/>このような画面が表示されます</p>                                               | <p>⑤ 自動返信メールが届く</p>                                                                                                                                                    |

**※注意** 自動返信メールが届かない場合は、送信が完了しておりません。

# 2024 - 25 年度版『ロータリー手帳』ご予約受付中



## 商品仕様

|       |                                 |
|-------|---------------------------------|
| サイズ   | タテ 17.4cm × ヨコ 8.5cm            |
| ページ数  | 192 ページ (本体)                    |
| カラー   | ロイヤルブルー (ロータリーの第一基本色)           |
| 月間予定表 | 2024 年 6 月～ 25 年 7 月 (見開き 1 カ月) |
| 週間予定表 | 2024 年 6 月～ 25 年 7 月 (見開き 1 週間) |
| 年間予定表 | 2024 年 6 月～ 26 年 9 月 (見開き 4 カ月) |

1部 定価 660 円 (本体価格 600 円、送料別)

5 月下旬出来上がり予定

〈月間予定表〉

〈週間予定表〉

〈年間予定表〉

## オススメポイント

- ロータリーの特別月間、ガバナー事務所、地区大会の予定など、ロータリー関連事項を掲載しています。
- ロータリー年度を網羅する月間と週間の予定表を設け、年間予定表 (見開き 4 カ月) は当該年度に加え、翌年度に向けて大まかな予定を書き込むことができます。
- 印刷には F S C (Forest Stewardship Council: 森林管理協議会) 森林認証紙や植物油インクの使用など、環境に配慮しました。また、色の違いを識別しやすいよう工夫しています。
- 筆記用具を入れやすいよう、ペンサックが付いています。
- 付録の「ロータリー関連資料」には、ロータリー用語など、ロータリー活動に役立つ情報を掲載しています。

**ロータリー活動の良きパートナー『ロータリー手帳』を、ぜひご活用ください！**

\*お申し込みは、クラブ事務局を通じて、お早めに。ご案内状は 2 月 1 日付で、各クラブにお送りいたしました。

ご注文は >>> WEB: [www.rotary-no-tomo.jp](http://www.rotary-no-tomo.jp) から

お問い合わせは >>> 一般社団法人ロータリーの友事務所  
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 4 階  
Tel. 03-3436-6651 Fax. 03-3436-5956  
Mail [keiri@rotary-no-tomo.jp](mailto:keiri@rotary-no-tomo.jp)

2月は平和構築と紛争予防月間です。

2月23日はロータリー創立記念日です。

今日、紛争、暴力、弾劾、人権侵害によって家を追われた人の数は7000万人。その半数が子どもです。

このような状況を、私たちは絶対に受け入れません。ロータリーは、異文化交流を通じて相互理解の心を育て、紛争解決のスキルを備えた人材の育成を通じて平和な世界づくりを促進しています。

### 平和な環境をつくるロータリー

人道的組織として、平和はロータリーの使命の礎となるものです。私たちは、地域社会での平和構築のために人びとが協力すれば、その変化が世界的な影響を生むと信じています。

ロータリー会員は、奉仕プロジェクトや平和フェロー・奨学生への支援を通じて、貧困、差別、民族間の衝突、教育機会の欠如、リソースの不平等な配分といった紛争の根底にある問題に取り組むために行動を起こしています。

ロータリーは、新たな課題に応えるために平和構築へのコミットメントを高めています。ロータリーが未来にインパクトをもたらすには何ができるか、持続可能な変化を目指すロータリーの[ビジョン声明](#)をどのように実現できるか、といった課題に取り組むべく、ロータリーは「平和構築」の定義をさらに広げ、より多くの人々が平和構築に参加できる方法を見つけることで、団結と幅広い参画による平和という概念に基づくアプローチを取っています。

ロータリーは、平和が可能となる環境を築いています。

### 平和の推進におけるロータリーの4つの役割

#### ロータリーとロータリー会員が担う役割：

- **実践者**：疾病との闘い、水と衛生、母子の健康、教育の支援、地域経済の発展といった分野でのロータリーの活動は、平和な社会への最適な条件を作り出します。
- **教育者**：ロータリー平和センターは、効果的な平和の推進者となる1,700人の平和フェローを育成してきました。卒業したフェローは、政府、教育、国際機関などで平和分野のキャリアを築いています。
- **調停者**：ロータリー会員は、ポリオの脅威にさらされた地域のすべての子どもにワクチンを投与するため、紛争地域における人道的停戦の交渉を行ってきました。
- **提唱者**：ロータリー会員は、平和構築や紛争後の復興プロセスに積極的ににかかわり、重要な役割を果たしています。

カナダの小さな町のロータリー会員は、戦火を逃れたシリア難民2家族を受け入れる活動を開始。難民は、カナダで新しい生活の第一歩を踏み出しています。

爆発は、いつもよりすぐ近くで起こりました。シリア、ホムス郊外の村に、スルタナ・アルチェハーデさんと4人の子どもが住んでいました。爆発はすぐ隣の学校で、スルタナさんの家の壁の一つが吹き飛びました。

母親のスルタナさんは、すぐさま子どもたちを抱え、立ち上る煙とほこりの中、夜の闇へ走りました。3歳になる双子の男の子、モンザー君とカイス君は近所の人に背負われて、姉のコーサちゃん（6歳）、妹のルキアちゃん（乳児）を含む家族皆が、逃げる人たちと一緒に近所の人が運転するトラックによじ登り、近くの森へ避難しました。それから数日間、爆弾が落ち続け、どこにいったらいいか分からず、寒さに耐えながら野宿をしました。

シリアの隣国レバノンで、スルタナさんの夫マゼンさんは、必死に妻に連絡しようとしていました。ここ数年、マゼンさんは数週間おきにレバノンのベイルートに出稼ぎに行き、高層ビルの建設現場で働いていました。出稼ぎの収入はありましたが、家族と離れて暮らすのはつらいものでした。そして、状況はもっと悪くなったのです。

シリアの内戦は彼の村にも迫り、マゼンさんはシリアに帰国することも出来なくなりました。彼の妻と子どもがレバノンに入国できたのは4カ月後でした。ついに、家族が一緒になりました。妻と子どもは生きていました。しかし、一家は難民となったのです。戦火から逃れ、受け入れてくれる国があるなら亡命したい何百万人ものシリア難民と同じ立場に。

アルチェハーデさん一家は、シリア難民を移民させる[国連難民高等弁務官事務所 \(UNHCR\)](#) に登録し、ひたすら待ちました。3年近く経っても彼らはまだレバノンにいました。

その頃、はるか8,000キロ離れたノバスコシア州アマーストのロータリアンが、シリア難民の様子をテレビで観て、どうしたら支援できるか考えていました。

子どもたちは家庭教師から習ったABCの歌が大好きです。

## 新しい文化

2015年9月、[アマースト・ロータリークラブ](#)の会員は、次の国際プロジェクトを考えていました。過去数年、南アフリカに学校を建設し、バハマの生徒に教材を送り、世界で災害を受けた地域に寄付をしました。そして、シリア難民の

ニュースが大きく報じられるのを観て、次のプロジェクトはシリアだと考えるようになりました。

「毎日のようにテレビで映される映像は、ロータリアンとして無視できなかった」と、半分引退した土木技術者のロン・ウィルソンさんは述べています。

「ヨーロッパやほかの場所に移動中に家族が死んでしまうなんて。戦争から命からがら逃げて、家も捨てなければならぬ。そういった心を締め付けられるような映像をみて、クラブで何かできないかと思いました」

アン・シャープさんは、難民プロジェクトにかかわるためにロータリークラブに入会しました。2014年5月、彼女は友人の結婚式に出席するため、トルコにいました。トルコは、2011年以来、3万人近くのシリア難民を受け入れ、ほかのどの国よりも多く受け入れています。シャープさんは、イスタンブールで、難民の子どもが路上で物乞いをしているのを目の当たりにしました。

2011年以來、難民となったシリアの人びと（単位：100万） 1 1 0 0 万人

トルコに移住したシリア難民（単位：100万） 2 0 9 0 万人

2015年11月以來、カナダに移住したシリア難民 40,000人

欧州で難民申請を行ったシリアの人びと 884,000人

「私は無力で罪悪感を感じ、それまでそんな気持ちになったことはなかった」とシャープさん。「カナダではそんなことは起こらないので、私たちはとても幸運です。私にとって、行動をおこすにはロータリーが一番良い方法でした」

2015年11月、カナダの自由党新政権は、数多くのシリア難民受け入れを開始。2016年2月末までに2万5000人の受け入れを表明し、2017年2月には4万人を突破しました。

カンバーランド・コルチェスター選挙区の自由党員ビル・ケイシー議員はアマーセントの住民で、この動きを歓迎しました。「難民の受け入れは、ノバスコシア州のコミュニティに、多文化のルネッサンスをもたらすでしょう。

新しい文化を歓迎します。なぜなら、ここノバスコシアは100年以上、移民を受け入れていますから」とケイシーさんは述べています。「シリア人がカナダに移住すれば、多くの事業を始めるかもしれません。難民を歓迎することは私たちの誇りであり、学ぶ機会でもあります」

シャープさんは最初の例会で、シリア人の最初の家族をアマーセントに受け入れる計画をまとめ始めました。その熱意から、彼女はこの難民プロジェクトの委員長に任命されました。

クラブは、コミュニティがどの程度このプロジェクトに関心をもっているか調べました。結果、地元の[ファーストバプテリスト教会](#)と[ホーリーファミリー教](#)

[会](#)が難民援助を模索していることが分かりました。

教会との連携には、入国手続きの面でメリットがありました。これらの教会は難民スポンサー契約保持者であり、2年はかかるであろう政府との難民受け入れ契約をクラブは共有できました。その見返りに、クラブは、事務処理、カナダ政府との連絡、資金集めを担当しました。またクラブは、プロジェクトを軌道にのせるため、着手金として5,000ドルを寄付しました。

「ロータリーのパートナーになることは願ってもないことだった」とホーリーファミリー教会のプロジェクト運営委員フランク・アレンさん。「こちらの肩の荷が取れ、ほかのプロジェクトに専念できました。助かりましたよ」

シャープさんは、「クラブ会員はこのプロジェクトを検討したものの、深く考えすぎることはなかった」と振り返ります。「ただ信じることを淡々とやるのです」

シャープさんは、ほかのクラブにも同様のプロジェクトを薦めています。「深く考えすぎたら、おそらく、やめていたでしょう。でも、正しい理由のために、やるしかないと思いました」

カナダ政府は、[BVOR \(官民連携による難民人道再定住プログラム\)](#)を実施しています。これは UNHCR が難民と認定された人を対象とし、官民が連携して受け入れ、支援する制度プログラムです。最初の6カ月は政府が生活費を負担し、民間スポンサーは次の6カ月の生活費を負担し、悩みを聞いたりアドバイスをするソーシャルサポート、通訳サービス、語学研修、就職活動を1年間支援します。

2~3カ月後、ロータリークラブと2つの教会は、政府が承認した家族を支援するための最低額27,000ドルを超える資金を集め、最初の家族受け入れ申請をしました。集めた資金は72,000ドル以上になります。

カナダ政府と UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) は、受け入れる難民の個別審査(指紋、顔、署名などの生体認証、健康評価、身元確認、数回の面接)を、慎重に行います。

難民家族の受け入れを成功させるには、書類やテストだけでなく、コミュニティに受け入れられることが重要です。アマーストでは、2015年11月に地元住民への説明会を行い、質問に答え、意見を聞きました。

「反対意見はありませんでした」とシャープさん。「どうなるか予想できませんでした。シリア難民を受け入れることで安全面に問題があるかという質問が多くありました。正直に言って、コミュニティがプロジェクトを全面的に受け入れてくれたことが信じられない思いでした。寄付金、現物支援、家具、なんでも私たちの要求したものを寄付してくれました」

アマーストのコミュニティのサポートがあつて、クラブは2016年1月、シリアのラティフさん一家を迎えることが出来ました。この成功で、2回目の受け入れに取りかかりました。

同年8月、アルチェハーデさんの一家が、第2の家族としてカナダ行きの飛行機に搭乗。長い旅がついに終わり、新しい人生がここで始まろうとしています。

### 生活を立て直す

アマースト（カナダ）は人口約9千人の眠ったような小さな街で、大西洋岸にあり、世界最大の塩沼の1つである美しいタンタマー沼の東岸に位置します。大通りは5ブロックの長さで、ビクトリア調の家々が立ち並んでいます。ファーストフードやスーパーのチェーン店は、一番近くても3.2キロほど離れています。

子どもたちとカナダの国民的娯楽であるアイススケートに興じる会員のアン・シャープさん。

多くのシリア難民は、トロントやモントリオールなど、仕事やリソースがある都市を希望します。しかしアルチェハーデさんの一家は、故郷で土地を所有し、アーモンドやオリーブを栽培し、牛、ヤギ、羊を育てていたのです。同じような小さな町を希望しました。

一家がアマーストに持参したのは手荷物だけでした。新居となった塩沼近くの町外れの質素な2ベッドルームアパートの家具はすべて寄贈されたものです。4人の子どもたちは元気いっぱい、訪問したロータリー会員にも明るく話します。

雪遊びが好きで、定期的に会う英語の家庭教師から教えてもらいすぐ覚えたABCの歌を歌います。テレビを観るとき、外で遊んでいるとき、お客さんが来たときも、この歌を歌います。

クラブは、マゼンさんがファンディ造園での職を見つけるための手伝いもしました。石細工をして壁や庭にデッキを造る造園会社で、マゼンさんはレバノンの建設工場で学んだ知識を活かすことができます。

「よい仕事をしてくれる」とオーナーのピーター・ミシェルスさん。「彼に2度指示することはありません。一度指示すれば、その通りにしてくれます。彼の技術と働く態度は素晴らしいものです」

ミシェルスさんの両親は、第二次世界大戦後にカナダに移民しました。彼は、マゼンさんとその家族に、自分の家族を重ねて見るそうです。

一家は毎週、地域社会に溶け込み、教育支援を受けるためのリソースセンターに通っています。ここでは地元住民と触れ合うこともできます。

「財産をすべて失い、知人もいないところで新しい生活を始める。そこで受け入れられるか、それとも差別されるか。マゼンさんを見ていると、私の両親が移民してきたときの様子が分かるような気がする」とミシェルスさん。「たぶん、私の家族も同じような経験をしたのではないかと思います。この国に来たとき、誰かがきっと助けてくれると希望をもって」

地域全体が、難民の家族に手を差し伸べました。先生は子どもの家庭教師になり、歯科医は無料で治療します。マゼンさんは運転免許を取得し、スルタナさんは地元のお母さんたちと料理教室に参加し、シリア料理も教えます。

子どもたちは、カナダの国民的娯楽であるアイススケートを学んでいます。一家がカナダの社会になじむまで、一步一步クラブは支援していきたいと考えています。「彼らに、この国やコミュニティを良くして欲しいと思います」とウイルソンさん。

一家がシリアに戻れる日が来るのかどうかは分かりません。でも今は、彼らの住む家はカナダにあります。ここで子どもを育てていきたいとも思っています。

マゼンさんは、英語はまだうまくないですが、子どもたちに対する夢ははっきりと言えます。“I want them to be pioneers.” 子どもたちには開拓者になってもらいたいと。